



平成29年
ニセ電話気づかせ隊推進委員会表彰団体の紹介

福岡銀行折尾支店

福岡銀行折尾支店では、店内にニセ電話詐欺の注意を呼びかけるポスターやチラシを掲示し、来店者に対して積極的な声掛けを行っています。
預金を引き出すために来店した高齢者から、現金が必要な理由を尋ねてニセ電話詐欺に気づき、被害を阻止しました。
この件から、ニセ電話詐欺が身近な犯罪であることを再認識し、より一層危機意識が高まりました。
県警とは緊密な連携を図っており、管内警察署の情報発信ツール「おりお安心ネット」に登録して、情報を入手し、注意喚起に役立てています。
また、年金支給日には県警と合同でニセ電話詐欺防止キャンペーンを行い、今後も、ニセ電話詐欺防止に向け、継続して取り組んでいきます。



とびうめ信用組合

とびうめ信用組合では、日ごろからニセ電話詐欺に関する取引先への注意喚起や、さまざまなことでも相談していただけるような信頼関係の構築に努めています。
以前、取引先から「市役所からの還付金の受け取り」についての相談を受け、詳しく話を聞くと不審な点が多く、すぐに警察署に連絡し、還付金詐欺の被害を防ぐことができました。
この件は、コンプライアンス責任者会議等で取り上げ、コンプライアンス責任者を通じて全店に発信、各店で協議することによって職員全員でニセ電話詐欺に関する認識を共有しました。
各営業店では、文書の発信や各会議において、他の金融機関も含めたニセ電話詐欺の事例や対応の注意点を協議し、注意喚起を図っています。

株式会社拳和警備保障

株式会社拳和警備保障では、代表取締役を隊長としたニセ電話気づかせ隊を独自に結成し、ニセ電話詐欺の防止に取り組んでいます。
新規採用警備員や現任警備員については、教育計画書の中にニセ電話詐欺防止に関する項目を加え、法定教育と併せて、ニセ電話詐欺防止活動や対応要領の教育を行っています。
業務内容としては、主に商業施設の巡回であるため、巡回の際には必ずATMコーナーを通ることとし、高齢者を見かけた際には挨拶を交わして、相談には笑顔で接し、相談しやすい雰囲気づくりに努めて、親切な対応をとることを徹底しています。
実例として、大型商業施設を巡回中にATMの場所を尋ねられ、携帯電話が通話状態であったことから詳しい事情を尋ねると、還付金詐欺に遭いそうになっていたことが分かったということがありました。
今後もこれまでの活動を続け、ニセ電話詐欺被害防止に取り組んでいきます。

ふくおか見守り隊(第一生命北九州総合支社)

第一生命北九州総合支社は「ふくおか見守り隊」として、高齢者・女性・子どもを犯罪被害から防ぐ見守り活動を行っています。
契約者方への訪問などの際に、周囲の方にも意識していただけるように、「ふくおか見守り隊」のネームプレートを着用しています。
全職員を対象に「ふくおか見守り隊」活動の意義・目的についての講習を実施し、県警からのニセ電話詐欺に関する広報を活用したり、全店舗にチラシを置いたりして情報を共有しています。
今後も地域の見守り活動を継続してまいります。



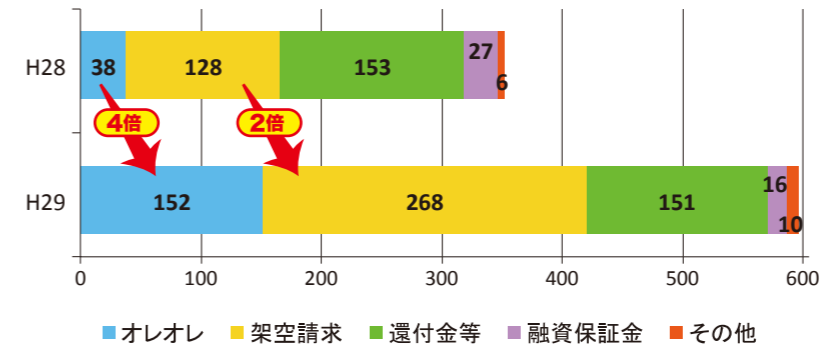
西日本シティ銀行宇佐町支店

西日本シティ銀行宇佐町支店では、ニセ電話詐欺を防止するため、窓口やATMコーナーでの防犯活動に力を入れていきます。
特に、高齢者が入店した際には、不審な行動はないか、不安な表情をしていないかなど、特に注意を払い、積極的に声を掛けていきます。
高齢者の出金時には聞き取りを徹底し、不審点があれば警察へ通報するなど、管轄警察署とも連携を図っています。
これらの活動を定着させることで、行員のニセ電話詐欺に対する感覚が向上し、これまでに複数回、ニセ電話詐欺を阻止し、ニセ電話気づかせマイスターに認定された者が3名います。
今後も現在の活動を継続し、ニセ電話詐欺抑止に取り組みます。

■平成29年のニセ電話詐欺の被害状況

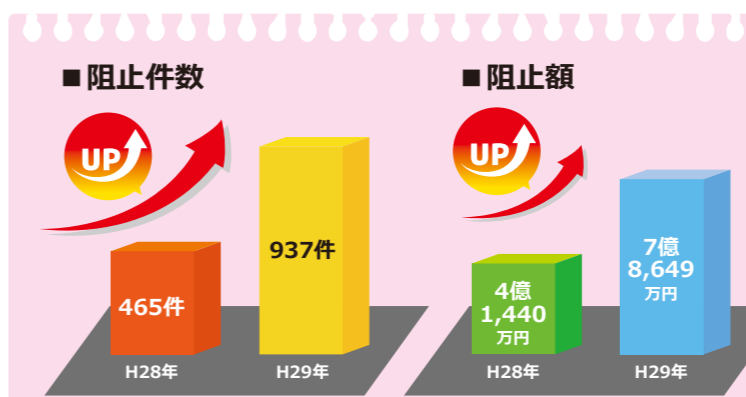
被害額:11億4,263万円
被害件数:597件

前年と比較して、認知件数は約70%、被害額は約72%と大幅に増加しています。
認知件数は、過去10年で最多を記録、被害額は、2年ぶりに10億円を超える結果となりました。

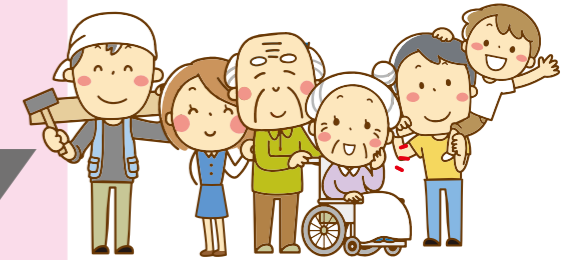


類型別の認知件数を見ると、平成28年と比較して、
・オレオレ詐欺が4倍
・架空請求詐欺が約2倍と大幅に増加しています。
また、還付金詐欺等はわずかに減少しているものの、高水準で推移しています。

■平成29年のニセ電話詐欺の阻止状況



●阻止とは・・・
銀行の窓口やATM、コンビニエンスストア等で、被害者への声かけなどにより被害を未然に防止したもの



参加団体数
10,527団体
参加人数
33万7,426名

■ニセ電話気づかせ隊参加状況 (平成29年12月末現在)

平成27年6月15日の「ニセ電話気づかせ隊」発足から現在まで、10,527団体、33万7,426人の皆さまに参加いただき「ニセ電話気づかせ隊」としてニセ電話詐欺の被害阻止活動に取り組んでいただいています。
ニセ電話詐欺気づかせ隊のみなさまによる声掛けなどの活動が、ニセ電話詐欺の被害を防ぐ大きな力となっています。

◎オレオレ詐欺

親族や銀行員などを名乗ってお金をだまし取る

■ 実際にあった阻止事例

被害者(80代女性)は、自宅の固定電話に鉄道会社の職員を名乗る男から「お孫さんの荷物を預かっている。」との連絡を受け、その後、孫を名乗る男から電話があり、「荷物を落としてしまい、その中に今日中に振り込まなければならないお金が入っている。」「親には言わないで欲しい。後で返す。取りに行くのでお金を貸して欲しい。」と言われ、銀行に行きました。

銀行員(阻止者)が、被害者に現金の引出し理由を尋ねると「孫が荷物を落としたので、お金が必要。今日、取りに来る。」と話したため、オレオレ詐欺の手口であることを説明し、被害を阻止しました。

よく使われるキーワード

- ・のどにポリープができて声が変わった
- ・会社のお金が入ったカバンをなくした
- ・今日中にお金が必要
- ・代理の者が取りに行くので手渡して



ポイント

- 元々知っている親族の携帯電話、自分で調べた警察署、役所、会社の電話番号に連絡!
→ **話が事実かどうか確認する!**
- 代理を名乗っても、**知らない人に現金などを渡さない!**

◎架空請求詐欺

架空の費用名目でお金をだまし取る

■ 実際にあった阻止事例

被害者(70代男性)は携帯電話に不在着信があり、その番号に連絡したところ、「ネット契約した40万円が未払いである。本日中にコンビニで振り込まなければ、法的手続きに移行する。」と言われコンビニに行きました。

店員(阻止者)が、携帯電話で話しながらマルチメディア端末を操作している被害者に気づいて、店舗マネージャーと声を掛け、電話を替わったり振込理由を尋ねたりして被害を阻止しました。

よく使われるキーワード

- ・有料サイト、会員登録の未納料金がある
- ・コンビニで代金を支払え
- ・法的措置をとる



ポイント

- 身に覚えのない**支払いには応じない!**
- 必ず誰かに**相談する!**

電話でお金はすべて詐欺! すぐに相談・110番!

ニセ電話詐欺の被害を防ぐため、様々な機会を通じて「電話でお金はすべて詐欺!すぐに相談・110番!」を身近な方にお伝えください。



ニセ電話詐欺グループの犯行拠点に関する情報提供をお願いします!

- 契約期間が短く、2~3ヶ月で退去(途中退去も含む)
- 若い男性が数人出入りしている
- 多数の話し声が聞こえ、物音がする
- 大量のシュレッダーごみ(紙くず)を出す
- 1日中カーテンが閉められている…など

怪しいと思ったら、
すぐに**最寄りの警察署**
または**交番**に
連絡をお願いします!

ニセ電話気づかせ大使任命式

平成30年1月16日、俳優の阿部寛さんを「ニセ電話気づかせ大使」に任命し、福岡県警察本部で任命式を行いました。

任命式後、阿部さんがニセ電話詐欺被害防止を呼びかけるメッセージ動画の撮影を行いました。この動画は1月27日から3月31日まで県警のホームページで公開されています。ぜひ、ご覧になってください。



▲動画はこちらから!



ニセ電話詐欺被害防止機器 を導入して、安心な暮らしを!

着信拒否

この番号はお受けできません。

事前警告

この通話は録音されます。

自動録音



注意喚起

迷惑電話にご注意ください。

お近くの家電販売店でお求めいただけます。是非ご検討ください。